

6

草原のススキで卒業証書を作ろう

実施校：中通小学校（阿蘇市）5・6年生

■実施概要

中通小学校の5年生と6年生は、「草原を守るために自分たちができること」として草原のススキを使った紙漉きに取り組みました。

導入学習で、草原の利用が減っていることや、草原を守っていくために、草を使うことが大事であることを学んだ上で、身近な牧野へ出かけて紙の原料に使うススキの刈り取りを行い、紙漉きを体験しました。できた野草紙は、6年生の子どもたちに卒業証書として手渡されました。

■学習のねらい

- ・草原を守るために自らができることに取り組む。
- ・草原の草を原料にして紙ができることを体験的に知る。
- ・手を動かして、ものをつくりだすことの楽しさを知る。

■学習の流れ

①教室内学習－45分（1コマ）

事前学習

9月24日（月）14:25～15:10

・阿蘇の草原の素晴らしさや草原の現状について学習（次の学習の動機づけ）

担任教諭により事前学習

- * 草原環境学習導入DVDを視聴（約10分）
- * 紙芝居を使って、草原の危機について学ぶ

②野外体験学習－175分（4コマ）

草原の草を刈ろう

10月3日（水）9:25～12:20

・地元牧野で、紙すきの原料となるススキの刈り取りと草原の自然観察

9:25 集合、→スクールバスで木落牧野へ

10:00 木落牧野で活動開始

- ・甲斐組合長のお話
- ・ススキ刈りと葉の選り分け作業

11:00 草原での自然観察

11:40 牧野を出発

12:20 中通小学校到着、活動終了

③教室内学習－100分（2コマ）

卒業証書の紙を漉こう

11月5日（月）14:20～16:00

・自分たちが刈ったススキを原料として、紙漉きに取り組む

野草紙の紙漉き

- * あいさつ、紙漉き手順の説明
- * 紙漉き（6年生/A3版、5年生/A5版）
- * 終了→後片づけ、集合写真撮影

<実施時期>平成24年9～11月

<実施時間>①事前学習 1コマ

②野外体験学習 4コマ

③紙漉き体験 2コマ

<参加者>5年生（2名）、6年生（4名）、担任教諭

<実施場所>中通小学校、木落牧野

<講師>木落牧野組合 甲斐組合長

<準備するもの>

（子どもたち）①、②ともに：クリップボード、筆記用具

（学校）①②ともに、ワークシート

①DVDと映写機材

②救急箱、草刈りカマ、ビニール袋、軍手

③長机、雑巾、延長コード

（主催）③紙漉き機材一式、説明用パネル、ブルーシート

（協力者）スケッチブック、ルーペ

<主催・コーディネーター>

NPO法人九州バイオマスフォーラム

<協力>環境省 阿蘇自然環境事務所

■実施の様子

◇地元牧野で野草紙の原料となるススキ刈りと自然観察



各自一握り程度のススキを刈り取り。その後、紙の原料にする柔らかい葉の仕分け作業も行いました。



牧野組合長から、草原の利用や管理についてお話を聞きました。



アクティブ・レンジャーと一緒に、広々とした草原で植物や生きもの観察。

◇ススキを原料に使って紙を漉く

2人ペアで協力して、紙を漉き、水切りをして乾燥させるという工程を進め、味わいのある紙が出来上がりました。



出来上がった野草紙は卒業証書や作品づくりに使いました。

■成果など

- ・身近に草原があっても、行ったことがない子どもたちがほとんど。北外輪山上の牧野から中通小学校を見つけたり、草刈り作業や動植物を観察したりする中で、豊かな草原を体感することができた。
- ・草刈りでカマを使い、紙漉きの道具を使って協力しながら作業をする過程で、もの作りの楽しさを実感できた。

留意点

- ・牧野を利用させてもらう場合は、組合の方の指導のもと、荒らさないように気をつけましょう。
- ・当日、講師として協力していただく方とは、事前に活動やお話の内容を調整しておきましょう。

